

消防団長研修会を 神栖市で開催



6・7月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉 梨 衛
印刷所
(旬)堀口印刷
1部 15円
(購読料は年会費に含まれています)



小林講師講演

平成二十九年消防団長研修会が神栖市の「鹿島セントラルホテル」及び「神栖中央公園」を会場に、七月五日(水)～七月六日(木)の日程で開催されました。
この研修会は当協会の重要行事で、毎年茨城県との共催で実施しており、今年の出席者は、各市町村消防団長又は副団長(代理出席)四十二名、同随行者三十一名、茨城県八名など、合計八十四名に上りました。
研修は、最初に県防災・危機管理課の橋本課長から「県の防災行政の概要について」説明がありました。続いて、水戸市市民協働部防災・危機管理課危機管理室の小林室長から「水戸市の防災対策の現状について」講演を行って頂きました。

翌日は、神栖市の神栖中央公園にて、これまでの神栖中央公園の整備事業概要の説明を受けるとともに、公園内に整備

意見交換会では、活発な意見交流とともに「波崎はやうち太鼓保存会」の演奏が披露されるなど、にぎやかに行われました。波崎はやうち太鼓保存会の皆様ご協力ありがとうございました。



小久保講師講演

休憩をはさみ、日本消防協会の消防団員健康セミナー制度を活用し、フリーアナウンサー・健康管理士の小久保晴代様から「その日の疲れは、その日のうちに解消」と題した講演を行って頂きました。講演では、肉体疲労やストレス発散のための運動が紹介され、各団長さんたちも真剣に体を動かしていました。



概要説明

お忙しいところ懇切丁寧にご説明を行って下さいました神栖市都市整備部施設管理課並びに生活環境部防災安全課の皆様方には、感謝申し上げます。



波崎はやうち太鼓



消防救助技術大会会長あいさつ

本大会で優秀な成績を収めたチームは、七月十四日(金)に山梨県消防学校において開催された関東大会に出場し、立派な成績を収めました。県大会及び関東大会の成績は次のとおりです。

開会式に続き、団体競技の三種目「ロープブリッジ救出」、「障害突破」、「引揚救助」の順に実施され、本番さながらの熱気と緊張感溢れる救助技術が披露されました。

今回の大会には、県内二十四消防本部・四千三百八十七名の消防職員から選ばれた精鋭三百八十四名の隊員が、日頃の訓練の成果を発揮し、互いに持っている救助技術を披露し、技術の相互交換、研鑽の場となりました。

災害救助に携わる隊員にとって、専門知識と体力、そして高度な救助技術を修得することは、正に急務とされております。

日頃の消防救助訓練の成果を競う「第四十四回茨城県消防救助技術大会」が、六月十五日(木)茨城県立消防学校において開催されました。

茨城県消防救助技術大会開催



ロープブリッジ救出



障害突破

【県消防救助技術大会】

《陸上の部》

◎ロープブリッジ救出

- 一位 那珂市A〔澤幡晋吉・佐藤惇大・黒澤裕貴・千葉郁〕
 - 二位 筑西広域A〔大門崇宏・萩原将大・鈴木秀明・小島巧〕
 - 三位 笠間市C〔磯俊右・塩畑雄貴・石川京典・市毛秀宗〕
 - 四位 高萩市A〔小室清史・岩間翔大・小見一龍・伊藤翔太〕
 - 五位 常陸太田市A〔和田祐哉・菊池仁康・根本拓磨・大関駿斗〕
 - 六位 稲敷広域A〔大島智・館大祐・板橋孝行・宮本竜徳〕
- ※一〜三位は関東大会出場

◎障害突破

- 一位 土浦市A〔齊藤雅大・田中洋平・福岡克仁・福本純・岩城純平〕
 - 二位 日立市A〔神永和成・松岡慎二・讃岐匡朗・和田真輝・菊地竜也〕
 - 三位 ひたちなか・東海A〔柴田翔平・内山健一・富田晃司・鈴木一樹・田中拓巳〕
 - 四位 日立市B〔鈴木政敏・矢部佑樹・大森翼・佐藤庄悟・落合優〕
 - 五位 常総広域B〔坂野翔也・中川成一郎・小笠原渉・羽生拓斗・木村直史〕
 - 六位 稲敷広域B〔小泉博史・菅谷勘佑・内田博一朗・高須拓也・磯部雅也〕
- ※一〜三位は関東大会出場



消防救助技術大会出場選手

◎引揚救助

- 一位 石岡市A (岡田正人・増井直人・座古智史・野口純・額賀俊明)
- 二位 茨城町A (藤咲真人・江幡光・小川直也・小野瀬晋也・田上翔太)
- 三位 北茨城市A (鈴木雅俊・峯大敦・茂木裕次郎・鈴木亮輔・石崎椋祐)

◎引揚救助

- 四位 稲敷広域B (奥澤学・菱木智晴・中島康浩・大津拓未・後藤昂平)
 - 五位 那珂市A (小澤卓也・大石徹・石井湧真・美山力哉・武石惇伎)
 - 六位 日立市B (小林敬弘・中澤亨太・河波俊・山形裕哉・石川善大)
- ※一～二位は関東大会出場

【第四十六回

消防救助技術
関東地区指導会】

七月十四日

- ・山梨県消防学校
- ・静岡県立水泳場

《陸上の部》

◎ロープブリッジ救出

- 那珂市 (入賞)
- 笠間市 (入賞)

◎障害突破

- 日立市 (入賞)
- ひたちなか・東海 (入賞)

◎引揚救助

- 茨城町 (入賞)

《水上の部》

◎基本泳法

- 茨城西南広域 (山口敬介) (入賞)

消防団員幹部教育
第五十七期
指導員養成科修了



指導員養成科入校生

今年も、県立消防学校において県内各市町村から四十七名の参加を得て、消防団員幹部教育第五十七期指導員養成科が、六月十日～十一日と七月六日～七日の延べ四日間の日程で行われました。

消防団員の教育訓練を担当する幹部課程ということで、「幹部の心得」をはじめ、「現場指揮・安全管理」、「訓練礼式」、「防災対策全般」、「災害情報収集・伝達」、「火災防ぎよ」、「救助・救命活動」、山林火災の想定訓練等、災害現場での対応を重点とした研修を実施し、幹部団員としての知識や技術の習得に努めました。

今後、地域に戻られてからも、研修の成果を地元消防団員に対する教育訓練に活用しながら、ご活躍されることを期待いたします。

茨城県では災害時に備えた物資の備蓄及び救援物資供給体制の強化を図るため、県西総合防災センター(筑西市)及び県南総合防災センター(取手市)に次ぐ新たな物資備蓄等に係る拠点施設として、県央総合防災センターを水戸市内に整備し、去る七月二十一日に完成内覧会が開催されました。



県央総合防災センター視察

所在地 水戸市見川町2436-1
茨城県トラック協会 総合会館敷地内

床面積 約1200㎡

建物構造 鉄骨造、平屋建て

保管物資

- ・食糧十萬食
- ・トイレ処理セット
- ・ブルーシート等
- ・水

県央総合防災センターは、インターチェンジに近いため交通の利便性が高く、敷地も広いので、大型トラックの進入やフォークリフトの使用による効率的な作業が可能となり、災害時の迅速な対応が期待できます。

県央総合防災センター 完成内覧会の開催

**オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種**

茨城県マスコット ハッスル黄門
ハッスル黄門 ストラップ取扱店

水戸スポーツ株式会社

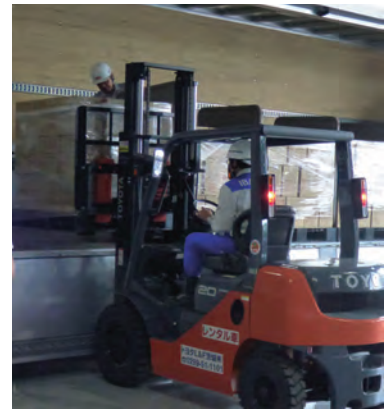
水戸市袴塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

残暑お見舞い申し上げます。
来月下旬からは消防ポンプ操法競技大会地区大会が始まります。練習の成果を発揮して下さい。

「茨城消防」では消防に関する行事や様々な情報など、記事の提供をお待ちしております。

また、広告掲載を募集しております(掲載料:掲載一回税込五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(一)

編集後記



フォークリフト作業

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

**茨城県代理店
有限会社 鈴 機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 電話310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

千波営業所 電話310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540

土浦営業所 電話300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型消防ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV110Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360